

## 会 議 録 ( 1 )

会 議 の 名 称	第3回入間市シティセールス戦略会議
開 催 日 時	平成27年5月22日(金) 午後1時30分開会・午後5時05分閉会
開 催 場 所	入間市博物館 会議室
議 長 氏 名	小林 昌幸
出席委員(者)氏名	関山 祐介、相本 大地、小川 大策、小林 昌幸 高橋 進、椎葉 京子
欠席委員(者)氏名	西澤 正夫
説明者の職氏名	商工課 副主幹 村山 泰貴
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	1 開会 2 議題 (1) シティセールス戦略について ①入間市の魅力・優位性について ②意見交換 (2) その他 3 その他 4 閉会
傍 聴 者 数	0人
配 布 資 料	なし
事務局職員職氏名	環境経済部次長 増岡 清、副参事 守屋俊久、環境経済部参事兼 商工課長 宮岡利雄、副主幹 村山泰貴
戦略策定支援業務 委託業者	一般財団法人公共経営研究機構 渡部哲也、竹野克己、瀬戸忠保
会議録作成方法	要点筆記

## 会議録（２）

### 議事の概要（経過）・決定事項

次の議題について事務局から説明。

今回より、戦略策定支援業務委託契約を締結した、一般財団法人公共経営研究機構が入る説明。

① については、関山副委員長より説明のあと、意見交換を行った。

(1) シティセールス戦略について

① 入間市の魅力・優位性について

②意見交換

(2) その他

#### 【用意したもの】

ホワイトボード（１枚）

入間市のジオラマ（地形図）

白模造紙（４枚）

前回会議で出されたキーワード（紙ベースで打ち出したもの）

会 議 録 ( 3 )

発 言 者	発 言 内 容
小林委員長	<p>(委員及び事務局等の発言が行われた部分のみ記述する)</p> <p>それでは、議事に入ります。これまでの経緯を理解した上で、戦略の内容につきまして踏み込んで参りたいと考えております。前回は、入間市の魅力について委員の皆さまから様々な角度からご意見を頂きました。今回はそこで出たご意見を基に、仮説を考えていきたいと思ひます。なお、仮説のあぶり出しの進行につきましては関山副委員長にお任せしたいと思います。</p>
関山副委員長	<p>前回皆さんから出していただいたキーワードを事務局にカードにしてもらいました。このカードを組み合わせて仮説を作る作業を今回の会議の課題と考えています。例えば、彩の森入間公園やジョンソントンあたりにもっと人に来てもらうようにするには、具体的にどうすれば良いか、何が足りないのか。市外の方に来ていただくことを基本とすると、様々な課題があがります。これらをどう解決するのが重要で、仮説を作っていた上で、ロジックとして1本の柱をきちっと立てた上、様々な枝葉をつけないといけないと思ひます。まずは、理論的に、入間市の魅力をアピールする仮説をくみ上げていかななくてはならないと思ひます。</p>
高橋委員	<p>一度、前回会議であがってきた要素を次のようにまとめます。</p> <p>例えば、ジョンソントンを中心とした話ですが、ジョンソントン自体の話とジョンソントンの持っている雰囲気等、言い換えればジョンソン基地がもたらした影響、アメリカ文化の話があると思ひます。ジョンソントンは、米軍基地関係者の住居跡で、いわゆるハウス文化といわれるもの。これは、入間のほかにも、狭山市や神奈川県横須賀、厚木や東京都福生市等にもあったものです。ジョンソントンでは、これらがきれいに</p>

発 言 者	発 言 内 容
相本委員	<p>まとまって保存維持されたので、近年マスコミの取り上げられることが多く、他県等広く話題になっていますよね。</p> <p>横田基地の前にある雑貨屋とジョンソントウンの明確な違いはあるのですか？</p>
椎葉委員	<p>明確な違いとすれば、ジョンソントウンの雑貨屋は、ハウス文化が持つアメリカ文化の商品ではないものも多い。一方横田基地周辺等は、それなりの街を残しながら、本格的にアメリカというか、現在も米軍基地があることから、軍放出品や米兵等が好む品物を置いている店やレストランも多い。ジョンソントウンは、ハウスの街並みと建物はありますが、アジア雑貨、韓国料理屋、北欧雑貨にイギリス雑貨にアメリカ雑貨を置いています。福生にはアメリカのアンティークを扱う店等があり、アメリカから仕入れています。ジョンソントウンはアメリカから仕入れしているよりも、国内の卸会社やメーカーから仕入れていると思います。ジョンソントウンは、そもそも、アメリカにこだわっている人が住んでいるのではなく、その雰囲気が良いって人たちが集まって商売を始めたのです。外国の雰囲気が好きな人が移り住んで来たけど、別にアメリカではない。それもコンセプトを求めて仕切っている人がいる訳ではない。ジョンソントウンがマスコミ等でだいぶ取り上げられたので、人も集まる。集まるならという感じで、何だか判らないコンセプトでお店をつくる人もできました。ブームに引っ張られる感じは良いのですが、駐車場も少ない、方向性も決めてないことがあります。でも、観光、買い物等の需要があることは間違いない。不動産屋にお聞きすると、ジョンソントウンにきたかたから、ハウスに住みたいという話がよくあるそうです。この方々は、入間市でも狭山市でもどっちでも良いから、ハウスの物件を探してくれと言われるそうです。</p>

発 言 者	発 言 内 容
相本委員	<p>入間市としては、言い換えると市長さんとかは、どんな観光やシティセールスを考えているのでしょうか。例えば、観光客に来てもらって泊まってもらいたい。その泊まってもらいたいという根底は、観光として、まちにお金が落ちる。経済としての観光誘客であるとすれば、観光産業としての以前の会議でお話に出ていた茶畑の見せ方、体験させかた、茶店等の話になる。となると、そのような魅力を作り出せる独特のお茶屋があるのか、ないのか。そもそも人口を増やしたいから観光客に来て欲しいとかあるのか。観光で来てもらって、住みやすそうだなと思ってもらい、定着してもらいたいとか。来てもらってただ、お金を落としてもらえば良いだけなのか。どんな感じでしょうか？</p>
増岡次長	<p>どこに視点を置くって言うのが出てくるかと思いますが、定住なのか観光なのか、あるいはイベントで良いのかとありますが、非常に難しいところです。委員の皆様にもどの方向に向いたら良いのかも、合わせて戦略の中で検討していただきたい。</p>
相本委員	<p>客観的に見たときに、何もかもが揃っていないような感じがします。</p>
椎葉委員	<p>私は、きっと市が観光地を作りたいと言ったら、困るなと思って、今回委員の公募に手を挙げて来ました。要するに、テーマパークのような観光地とか、今から近隣の川越市のような観光地化を入間市がやられては困ります。入間市は、良い意味でこんなに何もなくて可能性がある街が、今までに失敗している他市等のやり方を模倣し、追いかけることはやめて欲しいと思って手を挙げました。私は、入間市で暮らしを楽しんでいます。</p> <p>何も無いのが素敵ではなく、良い意味で可能性があり、様々なことをゆったりと許容できるゆとりがあるので、素敵な街ができる可能性が高いと思っています。しかし、他府県でこれを行政主導でやろうとすると、もう土</p>

発 言 者	発 言 内 容
高橋委員	<p>地がない、中途半端なものになったり、意見をまとめられないことが多いのに、こんことから、まちづくりが出来ない可能性が多いのに比べ入間市は、出来る可能性、まちを、人を育てられる可能性が十分にあると思ったのです。</p> <p>先日別の委員が、入間市ですべて物事が足りる、けど入間市では物事は足さない、何かあったら市外に行くとおっしゃっていた。基本的に何も無いようで、一応揃っていて在り過ぎない。暮らしやすさ。</p> <p>暮らしやすさの一つの見方は、位置、入間市駅周辺の公園を含めた素晴らしい住環境。高層ビルが建っている訳ではありませんが住みやすい。特色として、アメリカ文化の佇まいのある東町あたり、金子駅を中心とした自然を重視した暮らしやすさ。その辺をアピールしていくことによって、急速な発展というより、持続的で無理のない発展状態が維持できたらと思っています。</p> <p>暮らしをしていくには、そんなに不自由はないけど、市民の人は、何か特別なことがあると市外に出て行ってしまふ。そうであるとすれば、その部分を観光として人に来てもらいたいっていうことは当然あるので、何とかまちの魅力を売っていけないか、観光客、いわゆる交流人口を呼べないかと思う。</p>
椎葉委員	<p>私は、現在の考え方が、自分の暮らがベースという訳ではありませんが、一般的にいわれている地域創生のなかでの少子化対策の件は、入間市では次のようなことができるのと思います。</p> <p>仕事が東京に集中するから、東京に人は来る。しかし、そこは物価が高くて家庭をもてない。暮らしていけないから、子どもをもつことをあきらめる。歳をとって、人生でくたくたになった時、いっそ田舎に帰ろうと思ったけど、もう帰れない状態。いわゆる東京ブラックホール現象が起きてい</p>

発 言 者	発 言 内 容
小林委員長	<p>て、このままでは吸い込まれて日本がなくなってしまうというような話をされます。東京への通勤圏内の関東エリアで、通勤時間も1時間以内で済み、暮らしやすくて、家族がのんびりと育てられる場所で、都内に比較して物価が安いところをお願いしますと不動産屋に言った時に、「そんな所ありませんよ」と都会では言われる。私自身そういわれてきました。ところが入間市にはこの条件すべてがある。都内から約40分で来られて、自然が残っていて、家族が暮らしやすいという情報を得れば、多くの方が引っ越してくるのではないかと思う。</p> <p>日本人はすごくまじめで、外に働きに行くのがメインで家に帰る暇がない。食事は外食ですませて、たまにご褒美に海外旅行だと言っている人達は家庭には戻らない。家庭に戻るためのステキな生活にしたいと思ったら、沖縄とかハワイとかで暮らそうって言う人も多くなる。そうじゃなくて、入間に来ればそんなステキな生活が、わりと手軽にできると言われたら暮らしてみたくなる。</p> <p>茶畑が北海道のラベンダー畑のような観光的なイメージが確立されたら、北海道や海外に行かないで茶畑に来てくれたら。観光地になってくれたらと、外から観光の人に来てもらいたいという発想になってしまっている。</p> <p>入間市は、集合施設ができるとインフラが整っていないから大渋滞を発生させる。あの16号でさえ大渋滞になる。</p> <p>なので、横浜や川越のような観光地、外から沢山の人が集まる施設は難しい。ジョンソンタウンも、すぐ前の行政道路は細い。</p> <p>埼玉県南西部は、自然災害が非常に少ない。また、入間市は地盤がしっかりしていて、安心安全な街であるということは確かなので間違いの議論ではない。</p>
相本委員	西武線を利用して、明確に入間に入ったな、入間を出たなと思うこと

発 言 者	発 言 内 容
小川委員	<p>ってありますか？いわゆる他の市と全然違うところ。</p> <p>所沢から下りは、基本的に田舎のイメージが強い中で、新宿線は川越に繋がっていますので下りにもお客様は結構流れて行く。上りよりも下りの方が、実は狭山市あたりから混んでいたりする場合があります。それに比べると池袋線は寂しい。飯能方面に行く人は少ない。たまに混んでいると思うと電車の本数が少ないからだったりする。</p> <p>飯能に行く途中の入間市は、16号の上を電車を通して行く時の風景は、少し都会的に見える。小田急線でいうと町田みたいな雰囲気、田舎の方に走って行きながらちょっと都会に見える街があつてそこを越えて行く。田舎に行く途中の1つの山みたいな感じがします。</p> <p>それとは逆側に稲荷山公園などもありますから、昔懐かしい風景もその手前にあつたりして、混合した街なのかなと思っています。</p>
高橋委員	<p>そもそも、この会のスタートはどこかと思い出して見ます。少子化とかいうところから始まって、生き残りたいと思った時に、入間市には何もないかもしれないが、里山や丘陵があつて、暮らしやすい生活があつて、商業地区もありますので、その中である程度暮らしやすいエリアとして自立していけるようなものが実現できるとすると、他の地域の街も、自分達で独立していく方向になるミニモデルみたいなものをここで実現できたらいいなと思っています。</p> <p>入間市駅周辺地域と、金子等の自然エリア、商業地区と、入間市には3つあると思っています、金子あたりは茶畑ばかりですけど、商工業地域、農業地域、住居も含めた文化施設、都会的な暮らし、ゆったりとした暮らしと、お金を稼ぐエリアと、1つの街として生きていけるような気がします。</p>



発 言 者	発 言 内 容
相本委員	これを見た中で、日本独特っていうと「お茶」っていうのはすごいコンテンツになると思っています。
高橋委員	入間市は調べたら一番茶しか摘まないことが多いらしい。一回だけで二回目はやらないから、味が濃くておいしいと書いてあった。
小林委員長	<p>南方では一年に四回位茶葉が取れます、入間は二回が限度。コーヒーや紅茶が安く海外から入ってきたからお茶の消費量が減った。年配の方は、茶葉からお茶を飲むのでおいしいものを知っている。若い人にはペットボトルのお茶を好む。お茶への入り方が違う。若い人にはもっとおいしいものがあると気がつくと思う展開になると思っている。</p> <p>二番茶の収穫が減ったのは、簡単に言えば売れない、消費量が減ったため。主婦層からは、茶がらが邪魔といわれる。ペットボトル等のお茶文化が広がってしまったからなのかもしれない。</p>
椎葉委員	<p>お茶は入間市の特徴にすべきと思っています。ただそこで間違った方向に行くと欲しくないのは、茶摘み見学をすればいいのか試飲をすればいいのか。そんなことは求めてはいなくて、どっちかと言うと今まで当たり前になって幸せを感じていた、注目もしたことの無いお茶が、入間市にあるのはラッキーだったなと思ったのです。</p> <p>だから古い形の田舎暮らしとか、茶摘みとか、そっちに行くのではなくて、お茶をテーマに、日本人で良かった、こういう暮らしが良かった、そのように引っ張っていけたらステキになると思います。</p>
相本委員	私は、鶴ヶ島在住なのですが、入間市が住みやすそうな街だなあというのは何となくわかります。狭山茶もあるので、何か知れ渡るきっかけになるものがあればいいなど。

発 言 者	発 言 内 容
関山副委員長	<p>例えば、車のCMなんかで使う沖縄の海中ロード、綺麗な海の所を車で走っていて、行ってみたいなとなるような感じで、お茶畑ってどうなのかなと思って、この間金子地区へ個人的に行ってみました。</p> <p>道路の両側に防霜ファンが立って、ものすごく雰囲気や景色が良いですね。残念な点が2つあって、1つ目は交通量がものすごく多いこと。トラックがワーワー走っていて、太い通りに合流するのに車がバンバン走っていた。もう1つは、先に工業団地のコンテナや倉庫がすごく沢山見えた。茶畑はすごくキレイなのに、その奥に工業団地の建物が沢山見える。残念だなあと思う。日本景観100選みたいになるといいと思う。</p> <p>私は50代なので、アメリカンスタイルに共感する。レトロというのは共感する。飛行機が好きだとすれば、入間の航空祭でコックピットが見られるとか、カッコよく最敬礼している自衛官がいるのだったらそれを見たいなって思う。だから、そこは1つの売りだと思う。入間市にとっての観光の定義は「その街から住みやすいからここいいなと来て、歩いて、住みやすいね」と持ちこめれば、それが核になる。</p> <p>例えば世田谷。本当に住んで便利なのかというとそれは違うと思う。だから生活圏で便利な所の世田谷は観光になっているかというと、一般にいうところの観光にはなっていない。</p> <p>でも、公園があつたり、世田谷美術館があつたりするとそこには行くと言う人がいるので、観光と言えば観光。しかし泊まりはしない。入間はそのパターンだと思う。</p> <p>観光のツアーで考えると、やはり茶畑は絶対外せないと思いますが、それはシティセールスのプロモーションをやる時の余波的なものになるはず。根幹はその場所でその土地の食を食べてみたいと思わせること。佐世保バーガーは知っているが、ジョンソンバーガーは知らない。入間市や仏子駅で、それを食べても全然感激しないし、ジョンソントウンでコーヒーと共</p>

発 言 者	発 言 内 容
相本委員	<p>に出てきたら「これカッコいい」と思う。</p> <p>実家が佐世保ですが、そもそも佐世保バーガーは1店舗しかやってなかったそうです。それをうまく宣伝できたというのが1つと、やはり米軍がうまく宣伝をしたようです。結果、扱うお店がたくさんできた。</p>
椎葉委員	<p>その感覚からすると、本当にジョンソントウンだと思うのです。</p> <p>うまいこと宣伝し始めたのですが、宣伝している人がコンセプトを持っていなかったら、あっちこちにいつてしまう可能性があるのも、市で受け取らないと、本来の目的の方に行かないような気がします。</p> <p>飛行機とアメリカと懐かしい風景の街があったらそこに行つてのせられているなと思つても、ジョンソンバーガー食べますよね。</p> <p>サングラスもかけますか？サングラスは似合わないのでもニーテールします。でもそういうことだと思つう。</p>
相本委員	<p>まさにおっしゃる通りです。1人8000円のモニターツアーを2000円で、どこかに載せて募集となるとすぐ満員です。では、お茶摘み体験しましょうとその人達が来るかという来ないのです。お茶を摘みたいのではなくて、2000円の募集ツアーに行きたいのです。すごく乱暴な言い方ですが、継続して来てもらえるような仕組みを作らないと難しいです。</p> <p>食も同じで、〇〇鍋を作りましたと開発したのは良いですが、1回食べに来てもらうだけでなく、2回目、3回目食べに行きたくなるような継続的な宣伝をしているのか。</p>
椎葉委員	<p>そういう意味では、ジョンソンバーガーはそんなにリピーターはいないのではないのでしょうか。狭山市にあるジョンソンカフェは頑張っている。お店の雰囲気としては最高です。</p>

発 言 者	発 言 内 容
小林委員長	<p>そもそも、ジョンソンとはジョンソン基地。米軍基地の話なのです。</p> <p>ジョンソン基地というのは、入間基地が元々陸軍航空士官学校だった。戦争が終わったことによって、アメリカ軍が来ました。その時の名前が、ジョンソン基地。</p> <p>これは、ジョンソン大佐という方がパイロットとして英雄的な行為を行い亡くなっていて、その故人を讃えてジョンソン基地と呼ばれるようになった。でも、横文字なので、日本人にはすぐにアメリカのイメージがわく。米軍とか米軍ハウスのイメージがあってそれを利用した人たちがジョンソントンタウンという街を作った。</p> <p>良いこと、悪いことがある。雰囲気が残ったことと、私有地であることからなかなか皆で応援するという形はとりづらい。良い点は、狭山市にも米軍ハウスがあったが、今は区画整理の網にかかりほとんど残っていない。そういった意味では、地主さんが一人でこのエリアを持っていた為に、街並みの保存ができたということがあります。</p>
椎葉委員	<p>また、よく撮影等で使われていて、映画、NHKのドラマ、人気の民放ドラマでは沢山使われていますし、情報番組には、この3年間で20回以上でています。</p>
相本委員	<p>ロケ地の街みたいなの展開も、おもしろいかもしれないですね。</p>
関山副委員長	<p>まず、米軍の基地があって、これが売り物になるとすると、ここは開放している日とか、イベントとかに使えるけれど、聞いているとここは米軍絡みの歴史があって、ジョンソントンタウンと自衛隊と、この1950年代の米国の雰囲気やレトロが売りという1つのカラーですよ。</p> <p>ジョンソントンタウンというエリアは、もうブランドになっているが、そこに見に来る人がいていいなど。私みたいな人が、憧れて、昔懐かしいという</p>

発 言 者	発 言 内 容
委託業者	<p>ところで、古民家だとか、廃屋になっているようなところが入間にあればここを見て、憧れて、入間に空き家があって、ジョンソントウンを昔の30年代の米軍ハウスと同じような家を300万円くらいで改装して住めるよと言えば、今時300万円か？ということだと若い年代は入る可能性はある。</p> <p>また、ジョンソンバーガーやカフェがありますとかで他者にPRは出来るでしょうね。しかし、行政としては特定の方に支援しましょうというのは無理だけど、自然発生的なカフェなどの設置誘導はできると思う。</p> <p>入間市らしさは何なのかが全然見えてこない。具体的な要素はわかりません。アメリカ、米軍、ジョンソントウン、お茶という混在に違和感気になりませんか。古きよき心地よさのハイブリッドな街ですとは言えますが、ゴチャゴチャしている。</p> <p>シティセールスって何ですか。どんな広め方を理想としますかの問いに、一度に急に進めて、唐突に「一気にポーン」とやると大体失敗します。</p> <p>シティセールスを簡単にいうと、住む人、来る人を増やすということですが、どんな広がり方をして、どんな距離の人たちが来てくれて、それが入間市にとってどんな良いことをもたらすかということ掘り下げていくことが具体的な要素を決める前に大事なことはないかと思っています。目標、ターゲットを明確にすることではないかな。</p> <p>恐らく、特にお2人はすごく入間市に詳しくて、色々あるものをまとめてあげるのも大事で、それを外の人たちに伝えていく作業を通じて中に住んでいる人達も自分達の中に築いていくことが大事なのではないか。それが大きい。観光地が出来て、人が一気に来て、一気に帰ったら、皆幸せになりますか？という少し違うのではないのでしょうか。</p>
高橋委員	それは、そもそも考えていないところの話。

発 言 者	発 言 内 容
委託業者	<p>最初に出された「田舎」、「カントリー」。同じ言葉ですが、「カントリー」って言い方に意味があると思います。</p>
椎葉委員	<p>私は、東京で事務所やお店を構えて仕事を活発にしている、そこで、雑貨やリフォーム等、人々の暮らしの相談を受ける係をしていたようなものです。自然に暮らしたい、のんびり人間的な生活をしたいという、大きな需要があると感じていました。潜在的にこのような大きな消費者がいる、この需要がある住み方を、住み方のできる場所を、どこかの街で作りたと思っていた。入間市なら作れる。こんな場所に出会って「幸運、作れる。」と思っています。ターゲットとするのは、30代、40代。その根拠としては、過去に東京都心に住んでいて、その後ジョンソントウンに移り住んで来て、子どもが産まれている人が多いのです。最近も聞きましたが、その人達は入間市の外には出ずに、ここで楽しく暮らしていきたいと言っているのです。だから、おいしい食べ物があって買い物ができて、週末遊べる所。今のところは、皆、食べる場所がないと言っている。買い物はどうにかやっているが、休みの日は、彩の森公園に行って散歩やちょっとゆっくりピクニック感覚の事を簡単に身近にできる。ジョンソントウンでは、こんなことが始まっているので、入間市でちゃんと仕掛けようとしているメンバーが根拠をもって仕掛けたら、そういう街ができるような気がします。</p>
小林委員長	<p>ジョンソントウンを盛り上げようと思っている人は、実は昔のジョンソン基地を知らない。私が小さい頃、基地の中でフェスティバルをやっていた。360円を10枚つづりのチケットに換えてフェスティバル行く。例えば、こんなことをやっても良いのではないかと思う。売り物もアメリカのものでないのなら、本当の米軍基地、ハウス、暮らし、文化を知っている人達が、まちのなかで、すごく中途半端に終わってしまっているところ</p>

発 言 者	発 言 内 容
椎葉委員	<p>がある。私の知り合いの建築設計屋さん、昔のイメージのまま楽しんでいる。自衛隊跡地や米軍ハウスがあった頃の生活をいまだに懐かしんでいる。そういう人を呼んでいないので、語り継ぐというのは難しいと思う。ジョンソントンとお茶を結びつけたり、あるいは外にどういう風にアピールするかとなると難しい。</p> <p>この米軍ハウスとは違う世界なので、直接的にやるのは無理。今回、お茶をブレンドしたハーブティーを作りました。ハーブティー美味しい、身体にいいから飲みたいと言ったらお茶があった。お茶って入間だったのか・・・みたいにつなげる事は出来るような気がします。</p> <p>逆に、狭山茶でございますと言ってしまうと駄目なので、ハーブティーで少しい暮らししたいよね、からお茶を引っ張ってくる事は出来るような気がします。</p>
委託業者	<p>そこに何かつなげるものがあるとすれば、将来的に若い人にも感じられる郷愁みたいなものが、お茶の中に見つけてもらうことだと思います。</p> <p>お茶と言えば入間、狭山茶は入間が一番多いのです、とのコミュニケーションは違うと感じていて、まわりの自治体を傷つけることになるのでそのやり方で成功を喜ぶ人はいないと思います。</p>
小林委員長	<p>例えば先程のブレンドしたお茶の新しいネーミングを考えて、それを狭山茶とのブレンドを考えて、まるっきり違う新しい名前でも、面白いことを見出したい。狭山市に入間という地名があったり、入間市に狭山という地名があったりと非常に混在している。入間市に住んでいる人にはわかるが、市外の方には分かりづらい。</p>
相本委員	<p>ジョンソントンとか、アメリカっぽいとか、お茶がありますよというの</p>

発 言 者	発 言 内 容
高橋委員	<p>が入間市らしさと仮定したとしましょう。シティセールスで、住みたい人達、来る人が増えていきますよという仮説でシティセールスを展開しようとする、これから入間に来たり、住もうとする人は、お茶があるから、アメリカらしさがあるから来ているかどうか。入間市に住もうと思ったきっかけは何ですか。</p> <p>入間市に住もうと思ったきっかけは、アメリカでもお茶でもないです。それは文化です。人ですね。まちのもつ雰囲気。</p> <p>それは、ずっと追いかけていくとこれに繋がるのかもしれないですが、私は、文化があるところは港町だとずっと思っている。海岸沿いに住みたいとずっと思っていたのですが、入間市には港がある。その港は、基地。基地を通じて文化がある。横田基地も同じだと思いますが、町中を海に例え、港があると感じました。神戸、横浜。そういった文化的なものを感じて通じるところがある。</p> <p>お茶はここに来る時に、夜、お茶畑を通った時にすごく真っ黒なイメージしかなかったが、お茶畑の中を一本道が通っているのがカリフォルニアの通りに見えるという話がでていて、改めて走ってみて、カリフォルニアの雰囲気だと経験しました。それが続く距離は、5分～10分とあるので、見ごたえはある。港がある。文化があると言うことが、感覚的に好きということだったかもしれませんが、もし今、自分が住んでいる時にどんなプラスのものをくれますか？誰でも定年退職すると思いますが、世の中どう生きていくかという、仕事は終わったから、何かプラスα、何かをするわけですが、そこに楽しげな人が住んでいたりと、文化的な人がいたりするので、そのつながりがすごく面白い。</p> <p>たまたま、アミーゴという文化的施設でスタッフとして携わったので、色々知っている。その施設を知らなかったらそう思わないかもしれないが、アミーゴを通じて入間市には、そういう人が住んでいると思いまし</p>



発 言 者	発 言 内 容
相本委員	<p>た。</p> <p>入間市役所で働いていて、他の行政の方と「うちの市は少しちがうな」という感覚を覚えることはありますか？</p>
高橋委員	<p>企画されたおまつりで、万燈まつりといのがあるのですが、万燈まつりは普通のお店をたくさん道に並べてという、普通のおまつりなのですが、全部自分達で企画してお店を出します。川越は、川越氷川神社にまつわご神社の祭礼ですよね。それは基本的に市民発ではないので、そこがすごく市民の力を感じます。</p>
相本委員	<p>入間市をつくる時に、多くの町を合併する時に、市全体のお祭りがなかったので、行政と各地域の長が持ち寄ってお祭りをしたというめずらしい形のお祭りだと伺いました。</p>
椎葉委員	<p>私は万燈まつりも実は未だに行ったことがないのです。お祭りの特徴といったら航空祭だと思う。暮らす人とおっしゃっていましたが、私は入間市の人と会って、ここは特別だと思ったことはないのです。ですが、私のイメージでは勝手に妄想している架空の人はいます。それは、所ジョージさんと松任谷さんです。</p> <p>所さんは世田谷ベースを作りましたよね。要するに、暮らしを楽しみたい時に、所さんは自分の趣味で遊んでいいと。車、バイク、オモチャ、米軍のグッズ、そのあと農家になりました。大きな駐車場で暮らしを楽しむという提案で本を出しましたが、そのイメージが入間市にありました。逆に言えば、そのように向かって行って欲しいと思う。要するに、暮らしを楽しみたい。</p> <p>松任谷さんは以前、車の番組に出ていて、自分が一番幸せだった時代の話</p>

発 言 者	発 言 内 容
関山副委員長	<p>が、車の話と、狭山市に住んでいた小さな貧乏な音楽暮らしという昔の話をしていました。それも特徴なのだと思います。外国のにおいがして、貧乏で夢をもって、暇で、お金は無いが暮らしができた。</p> <p>昔が良かったなと思うのは、お金がなくてもその暮らしにすごく満たされているからでしょうね。</p> <p>行政サイドの基本のコンセプトは、やはりシティセールスかプロモーションか。具体的には、ここに来て、色々散策してもらい、住んでもらいたいというのがあると思う。そして、定住人口が増えることが原則。企画を立てる時にターゲットがどういうタイプで、どういう世代で、どういう売り込みをするかというのは、もちろん出てくると思う。</p>
高橋委員	<p>この地域をまとめるというのは、それぞれ全く違うので、住む人、住みたい人は変わってくる。</p> <p>先日、モンゴルの人にインタビューして、ここいいねと言っていました。実際、金子に住んでいますと、草原を感じると言っていました。</p>
委託業者	<p>「休日はいるま」ということなのではないかと思いました。</p> <p>休日の過ごし方というのは、アメリカンが好きな人でも、日本でもその他でもいい。ただ、心地よくて、都会では味わえない、ここでしかないという少しモダンなものの基準があって、それは人それぞれでいい。例えば、アメリカンを楽しむ人の写真があって、日本茶を楽しむ人、全てに「休日はいるまですよね」と言えば、それでもうコミュニケーションが成立する。</p>
高橋委員	<p>最初に、入間市は一応それなりに暮らせるというのがありましたが、その辺りで合致します。</p>

発 言 者	発 言 内 容
委託業者	<p>非成立することは伝わらない。やはりどこかを切り取って目立たせないといけない。</p> <p>当たり前の事でも、その当たり前さに乗って異常なまでに飛ばしていかないと目立たない。</p>
高橋委員	<p>イメージが頭に入ります。</p>
小林委員長	<p>「休日はあるま」と言いながら、実は東京から離れてないから入間に住んでいて通うこともできるよ、という発想ができるところで「休日はあるま」と言うコンセプトができると広がるような感じがします。</p>
相本委員	<p>1つだけ気になるのは、顕在化している自衛隊やお茶畑と暮らしがマッチしていない。そこを解決していかないといけない気がします。住みたくなるきっかけの何かを磨いた方が利口。</p>
椎葉委員	<p>住みたくなるきっかけで引っ張りやすいのは、やはりそういう文化なのですかね。米軍があったという。</p>
関山副委員長	<p>ある放送局が、ジョンソンタウンの取材をしていた。とても上手なロケで、あれを見ると憧れる。1回は行ってみたいと思うだろう。</p>
椎葉委員	<p>ジョンソンタウンでお店をやっているのは、本当に絵は描きやすいし、あの写真を画像で見せられると行きたくなる。ですが、すごく期待して、ニコニコしながら来て、「雑誌を見てここに来たのですが、その場所はどこにあるのですか?」「ジョンソンタウンを10分でまわってしまったが、あとはどこに行けばいいですか?」と言われてしまうという現状があります。</p>

発 言 者	発 言 内 容
関山副委員長	<p>行政側っぽく考えると、ジョンソントウンは売りになっているが、ここは私有地なので踏み込めない。なので、先程話したように、古民家や空き家や空き地に安く建てられるよと、地元の大工さんの紹介をすることは行政にはできるので、ジョンソントウンになる1つの切り札になる。家を改装する時に少しずつ民間さんがやってくれれば、バーバーやるか喫茶店やるか茶店やるかというのができれば、まちを散策するルートが増えていくかな。というのが事業としてはあり得るなと思っている。</p>
椎葉委員	<p>結果的には、自衛隊もこれほど航空祭などで有名なのに、航空祭に来た人たちはジョンソントウンに繋がっていない。米軍ハウスに繋がっていない。</p>
椎葉委員	<p>コストコ辺りは、人を誘導しようがない。</p> <p>私も初めは、アウトレットとコストコを絡めたかったが、少し絡んだ瞬間に拒絶してしまうと思いました。ジョンソントウンには、このお客さん達は来なくていいと。来て、安く大量に買って、帰るというパターンしかない。</p>
関山副委員長	<p>他のアウトレットへ行ったりしたが、行ったからといって、周辺のお店を周ろうとは絶対思わない。奥さんが忙しく買い物をして、疲れたな、待つのも大変だな、アウトレットでは落ち着いた食事処もないなと思うと、早く帰ろうとなってしまう。さっさと帰ろうと思ってしまうよね。</p> <p>だから、アウトレットからジョンソントウンへとはならない。</p>
高橋委員	<p>高速の出口の所からすぐにあるので、出て入ってそのまま帰るというのしかない。</p>

発 言 者	発 言 内 容
椎葉委員	<p>やってみてわかったのは、アウトレットへ来る人たちは、安く買いたいだけなので、その勢いでジョンソントウンに来られると、ジョンソントウンが荒れてしまう。安くはないし、色々なものもないので。</p>
関山副委員長	<p>結果的にこちら側が、先程の「休日はいるま」という状態になって、ジョンソントウンもあるが、ついでに買い出しにアウトレットやコストコへ行こうとなれば有効。</p>
小林委員長	<p>余りにも枝葉が多くなりすぎてしまうので、あえてアウトレット・コストコは前面に出す必要もないのではないかな。</p>
増岡次長	<p>基本的にアウトレットは真価などがわからない。将来的なことや各地にできてしまったので。</p> <p style="text-align: center;">—休憩—</p>
椎葉委員	<p>彩の森公園へ行き写真を沢山撮ったが、やはり写真の角度によっては外園に見える。茶畑も優雅。でもあそこで留まって何かをするのは無理。どっちかという、通り抜ける。通り抜ける場面としてはとてもステキなのですが。</p>
小林委員長	<p>お茶摘み体験というが、手にアクがつくので、知らない人がやると真っ黒になり嫌になったりしてしまう。お茶畑を持っている人からすると、中途半端にとられてしまうと後が困ってしまう。</p> <p>茶摘みの時に観光客には来て欲しくないと話していましたよね。街で楽しんでもらい、通り過ぎるという演出にしたらいいのではないかな。</p>

発 言 者	発 言 内 容
増岡次長	<p>お茶畑の話ですが、旬が10日～長くて2週間。お茶を摘み取り、製品にしないといけないので、イチゴ狩りやリンゴ狩りのような1ヶ月とかということではないので、生産者の方は、お茶を作るために一生懸命になってしまう。学校で狭山茶の体験をしているが、これはすでに旬が終わった畑を農業者にお願いして摘みとっているだけ。これを工場へ持って行って作るとなると100kgとか200kgになるのでなかなか難しい。</p>
相本委員	<p>鶴ヶ島のお茶屋さんのお客様と話した事があるが、お茶摘みと製茶と一緒にやっている業者さんは2時間程の睡眠で日々、日中は茶摘み、夜、夜通し製茶。暑い中、ずっとやっているのととても疲れると話されています。</p>
小林委員長	<p>お茶と紅茶の違いは、お茶の葉を摘んできて、置いておくと発酵して紅茶になってしまう。そこで熱を入れて発酵を止めないといけない。だから忙しい。今が最盛期で、摘んできたらずぐに蒸して熱を加えないといけない。</p>
椎葉委員	<p>これは、入間のお茶にキンモクセイを混ぜてキンモクセイの香りのするハーブティーです。全部茶葉をそのまま入っているのでポットでいうと10回分位。ハーブティーのよさは、癒しの効果があるので香りを楽しんでもらいたい。ハーブティーの嫌いな方は、ただの香りのお湯を飲んでいるようで嫌だというところを、緑茶にすることで味はホッとできるいつも飲んでいる味だが香りがするというのがうける。</p> <p>これはお茶ですが、若い人に気に入って頂けると思う。この間NHKで茶摘みのお話の後に、これをカフェで出したらそのカフェには問い合わせが沢山入ったそうです。</p> <p>シーズニング、ハーブとスパイスを調合するのを頑張っている女性が入間市に2人います。その方が色々な組み合わせを考えて、自分達で提案して</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>いる中にお茶があった。私は入間市に紅茶があることを知ったので、紅茶にハーブを混ぜて作った。彼女たちが途中まで頑張っていたものを、うちのオリジナルで作ったものです。</p> <p>すでにある商品でしたが、今まで無名だったので今やっと広がりだしたという感じです。</p> <p>だから、お茶のインパクトを使えないかな？というのはいくつかの発想から。</p> <p>ジョンソントウンの駐車場問題。課題は、駐車場と駅から遠い点。</p>
関山副委員長	市として、循環バスは難しいですか？
増岡次長	難しいです。少し離れたところに市役所からのバスがありますが、駅からのバスはありません。
小林委員長	家の建築価格は、どのシンク、風呂、流しを選ぶかによって値段が全然違う。だから、そこはオプションとすれば、300万で住めるというのは面白い。
椎葉委員	私はジョンソントウンに住んでいますが、辛抱、辛抱と毎日言っている。住みにくいところがあります。寝ている時に、窓が開いたままではないかという位に風が抜ける。しかし、目を向けた時のこの懐かしい画像が味わえた瞬間にリラクゼーションが起こるのでしょね。
関山副委員長	雑誌で見て来ていらして、そういうことをしていても、すごくレスポンスが良くて、ファンで見に来たいという人が多いということと、現実とは違うと言う事です。

発 言 者	発 言 内 容
高橋委員	駐車場の問題と、駅から歩いていくには途中で魅力的なお店等が何も無い。
関山副委員長	車で来てもらって駐車場において、見てもらう。ジョンソントウンに行くまでの間に空き家等があればという前提にはなるが、そこに住んでもらうということになるんですね。
相本委員	住んでいる方は、見られても構わないのですか？見学に沢山人がくるというのは。観光地のように扱われている事が別に嫌ではないのですか？
椎葉委員	<p>おもしろいもので、ジョンソントウンに住む為の契約書に、この家は宣伝や見学に使わせる事と書いてある。</p> <p>それを承諾して住んでいる私たちは、基本的にどうぞご覧くださいという体制。拒絶したくなる人も一部はいます。昔の車などにこだわって置いてある。見せたい人がいますね。</p>
関山副委員長	行政的には、これで全部網羅されているのですか？全地区というのは入間市駅周辺とかいうところの話と金子とか、ここで全部網羅されているのですか？
増岡次長	入ってない地区もあります。入間川、西武の方や宮寺など。
高橋委員	伺いたいのですが、成功だったのかどうかわかりませんが、宮寺のホッタラケの島ありましたよね？あれは成功ですか？5～6年前でしたね。
守屋副参事	フジテレビ開局50周年のアニメ。DVDが並んでいたりしますが、それが入間市の宮寺地区にある神社を舞台にした話。



発 言 者	発 言 内 容
相本委員	ウォーキングマップを作って、シティセールスの形でどなたかがおっしゃっていましたが、ある日突然そういったイベントをパッと目に映りますが、いきなり「これこの地区なの？」という感じで、その後継続的にお客さんとか人が流れたのかどうかというと少し考える所がある。
増岡次長	地形的な資源としては加治丘陵や入間川です。
椎葉委員	入間川で何が釣れますか？
増岡次長	アユ等が釣れます。ただし入漁券が必要です。入間川は、散歩コースになっていて夏には、花火大会やお灯籠流しをします。
椎葉委員	「休日はいるま」というキャッチコピーが気に入っています。「休日はいるま」にするとしたら、暮らしと買い物、食べる事はこれからできそうですね。今の、済むのに家が300万程度で買えるという話も出て来たし。だけど遊びとかレジャーとかイベントはどこでやるのだろうと思ったら、その時に川と公園と茶畑なのかなと。バーベキューができるようなところがあるとか。やっているのを見た事はないですが。
増岡次長	いや、地元の人はやっていますよ。結構景色もいいです。やはり夏は水辺が恋しくなりますから。駐車場は、河川敷なので石がごろごろしていますが、車高の低い車だと難しいですが駐車することはできます。
関山副委員長	これはいいのですか？狭山の湖。
増岡次長	あそこはもう所沢。一部は入りますが、水源地なので活用は出来ない。

発 言 者	発 言 内 容
椎葉委員	<p>ジョンソントウンにはミュージシャンが2人います。漫画家さんもいると聞きます。ただ住んでいるだけでは想像じゃないですか。私たちが絡ませるとしたら、どこかのバーへ行ったらそういう人がいるとか、音楽が流れているとか、吉祥寺みたいな。行けばアーティストに会えるとストーリー性があると思います。そうでないとストーリーが作れない。</p> <p>市が何らかの支援をすることも、具体的に発展させるのはその人達の仕事になるのではないかと。だからそういうことができるような街ができていればいいですね。そうしたらきっと後々出来上がっていく。</p>
関山副委員長	<p>何らかの理由があって、住んでいるのかなと思っていて、ジョンソントウンと絡む事になるとそういうことなのだろうなということになる。</p> <p>たまたま昔から住んでいたということになると、無茶ぶりでストーリーを作っているふうにならないとどうしようもなくなるなと思った。どうしようもないなら外さねば。</p>
椎葉委員	<p>ちなみにジョンソントウンには有名なデザイナーさんや、編曲家さんがこっそり来ている。1人はラップか何かの編曲家さん。ジョンソントウン内にスタジオを作ってスタートしたのですが、今は北海道から沖縄からミュージシャンがこっそり来て、第一ホテルに泊まって、夜な夜なレコーディングしている。それを外側に作れたら、人が来るよねということですね。</p>
関山副委員長	<p>ミュージシャンとして、すごくクリエイティブになるような雰囲気です。ここで音響効果がないような所をわざわざ改修して。ミュージシャンは皆お金もってないのに。なぜだろう。</p>
椎葉委員	<p>そうです。彼も言っていました。東京にスタジオがあって競争相手がいたと。で、自分が入間に引っ越しをしてジョンソントウンに来た時に、これ</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>は負け戦かと思っただけですが、なぜか皆がついてきちゃって。彼も今、何をこっちでこんなに距離が離れていて、沖縄から入間まで来るのは大変なはずなのに、なぜこっちなのだろうと。ジャケットをスタジオの中で撮ったり、外でこっそり撮ったりするらしいです。ただ、ジョンソントウンにいるメンバーは、憧れて来たわけではなく、本当は福生とか横須賀とかそっちにその世界があると思って探したら1軒件だけどうにか残っていたけど、道の向こうは現実だった。街並みが欲しいと思ったら、ここに嘘の昔を作ってくれたので、ここから先は自分達で自分のエリアだけ頑張るといふ人たちが集まった。しかし暮らし始めたら不満が出て来ている。やれないし、広がらないし。飛び出したい。もう何人かは、場所を見つけて一緒に街を作ろうという言葉が出るくらい。</p> <p>入間市内限定ということではなく、こういう街を作れるところを探す。だから一緒のご近所が同じ考えでないと街が作れないので、同じ事を考えている人で飛び出す。</p>
関山副委員長	クリエイティブな人は1950年代を好きなんだね。
高橋委員	<p>僕が知っているアミーゴという施設は、木づくりなのですが、音がよかったり、雰囲気よかったり、階面の同じフロアでやっている雰囲気がとても気に入って帰ってくるのです。</p> <p>だからリピーターとして安いし、お客もそんなに入らないですが。川がすぐ隣に流れていて、芝生があって、芝生と川を見ながら演奏をするというのがすごく気持ちが良いというのです。</p> <p>そういうのを求めていくのがあるのかな、アーティストの方は。</p>
椎葉委員	先日ジョンソントウンで、チューブがコンサート用のパンフレットを作ったのですが、ジョンソントウンの街並みとジョンソントウンのお店にチュ

発 言 者	発 言 内 容
相本委員	<p>ープが訪れたという体で一冊つくりました。景色と音楽というのがあるのではないのでしょうか。1つずつのクオリティーの高さではないです。あのかたまり、路地、電気と平屋。</p> <p>住んでいる人からとか、ちょっとした観光みたいな人達は、「あーこんなものか」と思ってしまう街が、日本全体からしてみたら、ジョンソントウンといつ知名度というか名前が売れているという、そこがジョンソントウンの強みなのではないですかね。実は、日本からして見るジョンソントウンというのは、昔のアメリカが残っている街なんだよという、そのすり込みが1つの強み。</p>
椎葉委員	<p>この1～2年ですり込みがやっと出てきたのかもしれないですね。このまま、この街に来た人が、沖縄に住んでしまったり、ハワイへ行ってしまったりするのです。こんなに便利にすぐに見に行けるよという場所。</p>
相本委員	<p>少し足を運んでもらう為のジョンソントウン云々というのをPRする事ができればいいのだと思うのですが。</p>
椎葉委員	<p>ジョンソントウンは2～3年の成功例としていただいてこっち側でちゃんと作った方がいいと思います。</p> <p>ジョンソントウンは宣伝されては困ると言っている。そして、そのあと作り込むのも難しい。</p>
相本委員	<p>パッとお金を払って宣伝するのは簡単かもしれませんが、来てもらってからどうするのかというのが全然整理されていないので、1つの問題はそこだと思います。知名度はあるけれど、来てがっかりされては、二度と来なくなってしまう。</p>

発 言 者	発 言 内 容
小林委員長	<p>それと、耐用年数の問題もあると思います。あまりお金をかけて知名度を上げて、また1回壊して、また基礎から作りなおして、昔使った材料貼り直しているの。取り壊してやると、あの道幅は取れない。もっと広くしないと。</p>
守屋副参事	<p>アミーゴも同じような気がします。アミーゴもセットなのですよ。そこに空間があって、そこが面白くて、アーティストさんがきて、リハものを作ったり、都内の人に来てくれて物を作った。それは多分入間市が気持ちいいから。多分同じテイストがあったからだと思います。同じ香りがする。仏子にもあったという。</p>
高橋委員	<p>金子を少しなんとかしなくてはいけないというのがあります。</p> <p>しないとならないというか、金子に関しては出来なかったということではないのですかね。しようと思ったができなかったという。</p> <p>先程お茶の話なども出てきたので、それをそれなりにまとめておいた方がいいなと思ったのですが。</p>
相本委員	<p>お茶もそうですが、とにかく最終的にシティセールスで人に住んでもらいたいという事があった時に、住む為の条件が整っているのですかとなると、例えば、ジョンソントウンにきました。ここに住みたいと思って、住めますか？来たいと思ったが、行けますか？茶畑見てみたいと思ったが、行けるの？</p> <p>それを行政に頼んだら、お金が出て来て整えてくれるものなのですか？その可能性がないのだとすると、もしかしたらアイデアを出して、行政に動いてもらうだけになる可能性もある。</p>

発 言 者	発 言 内 容
椎葉委員	<p>例えば、ジョンソントウンにバス作って欲しいと言ってもダメ、難しい。そこまで予算がないといった時に、私の1つのアイデアですが、ところざわ自動車学校のお迎えのバスをどうにかジョンソントウンに停留所を作ってほしいと頼み込めばいいのかな。でも、私からところざわ自動車学校には頼めないで、それを市の人に動いてもらえばいいのか、と思った。</p> <p>それで、例えばところざわ自動車学校の社長は旧車が大好きで、博物館のような所があるからそこを絡めて、街で何かしましょうよと話せば、ジョンソントウンの還元みたいな事ができるのかなど。1つの具体例ですが。</p> <p>今、それを進めておかないと、結局、家を作った時では何も進まないのではそちらが先の話。</p>
相本委員	<p>埼玉県とか川越市とかは、2020年にオリンピックがありまして、ゴルフが川越市の霞が関カントリーで行われます。外国人がくるので、外国人をどう受け入れるの？という予算を組み始めているそうです。外国人が一過性でくるからといって、そこでパッとお金を使って何をするのと話し合い始めたところで、それよりももっと長いスパンで考えて人口を増やすのか、どちらを目標にしているのかはわかりませんが、そちらの方に予算を引っ張ってこられるような動きをしないといけないのではないかと。よく、外国人がやってくるがどういう風にやっているのという相談を受けるのです。</p> <p>インフラの整備をする為の準備はどうなっているのかなという事。</p>
守屋副参事	<p>その為の戦略会議で、行政にできる事があるかもしれないし、民にお願いするのもあるかもしれないし。どんどん出して行って、知恵をお願いしたいものもある。この場でこれができる、出来ないの判断はする必要はないと思います。</p>

発 言 者	発 言 内 容
椎葉委員	<p>それでは次に遊ぶ提案を。人はどうやって週末遊ぶのだろうと想像したら、その場所が入間市で作れるかなと。</p>
増岡次長	<p>遊ぶ場所を山や川や色々遊ぶ、出来合いのものに行くかどうかというスポットはあるかと思うのですが、例えばジョンソントウンがそれなのか、あるいは入間川がそうなのか、それとも山に散策に行くのがそうなのかということで、入間市の地形とか、立地状況の中で入間市をどういう風に磨くものがあるか、どう磨けば光ってくるのかというのがいくつか必要なのかなとは思っています。それを提案していけばいい。仮説を出して頂ければ。</p> <p>3年や4年で磨くのが難しいのであれば、長期的にみても、絞って磨き上げていけば、定住に繋がるかどうかはわかりませんが、そういう形でできていけばいいのかなと思っています。</p>
椎葉委員	<p>そういう意味ではもう5つ位は出せます。</p>
委託業者	<p>シティセールスという話題づくりで大事なところでいうと例えば、今は商工課、観光課と言っているかもしれないですけど、休日課とか遊び課などを作って、そこの名誉課長が所さんですという風にしてみるとか。そういうことの方が効いたりするのではないかな。</p>
椎葉委員	<p>そうですね。所さんと松任谷さん絡められたら、すごいイメージしやすいですからとことん遊ぶんだというのがすごく伝わる。</p>
委託業者	<p>実際は、こういうところに出される色々なアイデアがあればいいなと思うが、それをイメージからもやっていく。</p>
椎葉委員	<p>お茶は本当に何かの目的に少しずつ入れていくだけでよい。お茶畑に興味</p>

発 言 者	発 言 内 容
相本委員	<p>がある人達に意見を聞いたところ、ここは通り道として最高だと。ここで何かをしなくていいのだと言われてしまった。だから、ここから他県に行って楽しむとか、そこまでどこかにゆっくりしに行く、という所であって欲しいと言われて、なるほどと思った。それが正直なところだなと思ったので、ここで大きなイベントを考えても難しいだろうと思いました。</p> <p>先程おっしゃっていましたが、そうですね。</p> <p>お茶をやっている人からしてみたら、お茶のシーズンに来られると多分迷惑だと思う。茶摘みと製茶を一緒にやっている業者さんは本当に2時間睡眠で、半月通してやらないといけない。目が血走っている。</p> <p>何かイベントをやるとしたとしても、オフシーズンですよ。</p> <p>ビジュアル的に茶畑はすごくいいのですが、一番、最盛期は近づけない。</p>
増岡次長	<p>埼玉県の百選で、茶畑が1位になった。</p> <p>金子の茶畑が400haまとまっている茶畑があります。それが関東では一番だという事で、展望台からのぞいた時に非常に広がりを感じる。</p>
椎葉委員	<p>茶畑も始まりから青梅市に向かってみた時に富士山があって茶畑が広がっているその瞬間だと思うのです。</p> <p>そして、その瞬間に感動しながら通り過ぎるのがステキだと思う。</p> <p>どちらかという、遊ぶ場所ではなく見る場所なのではないですか？</p> <p>他のものと絡めてキーにするとか、ストーリーの中に入れるとか。</p>
関山副委員長	<p>有名にしなくて良いのですか？狭山茶は「いるま茶」と。</p>
増岡次長	<p>狭山茶は、過去に狭山市で作っているのではないかという話が多く流布されたことから、「入間茶」と名称で茶業関係者がプロモーションをしかけ</p>



発 言 者	発 言 内 容
椎葉委員	<p>たが、失敗したようです。</p> <p>それで先日話しを聞いていて、「金子」という新しいブランドをつくったらどうですか？というのがすごくヒントになった。場所で言うのが、それこそキンモクセイティーとか何かこういうのを作れば、そこから後で繋がりませんか？</p>
高橋委員	<p>入間市・狭山市競争から軸をずらして後から繋げるという風に。</p>
関山副委員長	<p>この前のデータを見てみると、お茶屋さんでお茶を売っている所が金子にあったのにすごく入りづらいという話があったので、来てもらってお茶の名産地なのだなと思っている人達が地元のお茶屋さんが分からなくて変えないというのはあると思う。それはもったいない。機会損失。それはいいの？</p> <p>見るだけで良いよという事だけでいくとして、イベントを打つ必要がないとしても、生産拠点であることは間違いがないから、ここへ来てもらってやはりお茶は美味しいと言ってもらった方がいい。これは、財産だから。</p>
椎葉委員	<p>お茶屋さんに入りにくい私の意見を聞いてみますか？</p> <p>イギリスの紅茶のブランドの直営店に行くのは、すごくステータスで気分が良くなって行きたくなります。けれど、お茶屋さんにはまるつきりないです。逆なのです。</p> <p>すごく立派な大きな器で入っていくと、絶対飲ませないけど買って下さいというお茶屋さんで、他のものは売りませんという感じ。</p> <p>要するに、敷居が高いのだと思うのです。で、パッケージや内装が少しい気にさせてくれるならいいのですが、お茶さんはステータスの雰囲気は作ってくれていないので、私買いに来たわという感じではないですよ</p>

発 言 者	発 言 内 容
委託業者	<p>ね。そこら辺ができれば、お茶屋さん巡りは雑貨屋さん巡りと同じであると来たいと思う。</p> <p>それが、入間市から始まって何故入間がお茶に関してそんなに新しい事を提案しているのとか、面白い事をだしてくるのといったら、狭山茶は実は入間だからだよという風に繋げていけばいいのではないかと。</p> <p>今、オーガニックコスメのお店の話とか仕事でしているのですが、すごく複雑なのです。</p> <p>マリアージュフレールとか、そういった話だと思うのですが、もっと安く言えばルピシアなど。それと、今のこのギャップは大きいですよ。</p>
増岡次長	<p>中にはオープンなお茶屋さんもあります。</p>
関山副委員長	<p>一般の人間からすると、入りにくいというのがある。</p>
小林委員長	<p>私は全部説明できます。一言で言えば商業的なセンスが足りない。</p>
高橋委員	<p>最近あの田舎道と言われる所を通ると、両側にお茶の旗が並んでいるような通りがあるのですが、そこには農協かなにかお茶を売っている所がある。そこにちょうど今の時期、旗が一応立っている。うちで「新茶が買えます」というように。僕はその前をと通り過ぎるだけなのですが、1つ1つお茶の種類が違っているとされているから、それを少しその場で飲めるような機会があれば楽しいと思う。ただ今はお茶売っていますとって旗が立っているだけの状態だから、入りづらい。金子駅から少し離れている所もあるので、あの距離を歩いて巡るのかなと思うと少し辛い感じがする。</p>
関山副委員長	<p>市内在住でない方から見ると、まずは、お茶を売っている売店があるとい</p>

発 言 者	発 言 内 容
	うことですよね。つまり、他所の人たちからすると、売店からのアクションが良くないから入れないという事だから、入れるような仕掛けができればいいのでは？という事ですよね。
小林委員長	<p>儲かっているかという話は踏み込めないが、お茶屋さんも今は後継者がいないからやめる話もある。農業は補助金で助けられている。</p> <p>お茶屋も生産農家、機材に投資も大きくなる。だから、寝る間も惜しんで全面的仕事をやらなくてはならない。</p>
椎葉委員	各お茶屋さんにごこの話しは難しいから、こちら側でそういったステーションを作って、みんなの物を置くという方が良い。
高橋委員	利き茶ができるイベントとか、農業の場所があると出してくれる人いますか？
椎葉委員	ただ金子駅が行きづらい。
高橋委員	<p>お茶の雰囲気としては金子駅の方が良い。</p> <p>入間市駅で利き茶もいいが、実際に作っているのは金子だから、煙り出してお茶の香りが工場のあちらこちらから出る時期があつて、その時は街がお茶の香りで埋まる。そこでお茶というのが良い。</p>
椎葉委員	でも、その時期に観光客は来てはいけないのでは？
高橋委員	製茶の時期で忙しいか。
関山副委員長	だけど集約されると思う。既存の財産を活かす事。要するに茶屋はある。

発 言 者	発 言 内 容
増岡次長	<p>個人のお茶屋さん。立場上の事情もあるかもしれないが、売れた方がいいはず。</p> <p>お客さんは、駅、要するに車でなくても来られる所だから、そこにお茶屋さんがあってテイasting等をしてもらって、接客体制が良ければ、売れるという事。そこははっきりしている。当たり前のことを当たり前でできない事が問題。</p> <p>それぞれのお茶さんの商品を集めてアンテナショップ等を行政でやることは難しいでしょ？駅近くに道の駅など。</p> <p>難しいですね。</p>
関山副委員長	<p>だったら、自助努力してもらわないと。</p>
小林委員長	<p>農家は難しい。バブルがはじける前は少しあったが、はじけてからはまたなくなってしまった。</p>
高橋委員	<p>単なるアイデアですが、商業地域が金子へ移動してきてお茶をつぶして茶畑が住宅街に代わっているような動きがある。だが、住み良い街づくりのためにお茶畑を守ろうという観点から考えた時に、お茶畑をつぶさないような援助という訳ではないが、買う人から直接お金を出してもらって茶畑を運営するということで、茶畑を守る、あるいは自分が投資した所のお茶を摘んで味わうというイベントや仕組みを作るという対策しか考えていない。お米でも同じ。</p> <p>今、お茶屋さんが持っている土地、お茶畑を農業生産事業者が借りて、新参者なのに自分用のお茶を作るか。ないしは、お金だけを出してもらって誰かが運営する。新参者が運営会社としてやっていて、お金はお茶を飲みたい人から集めて運営する。そういうのでお茶畑を守りながら経営もやる</p>

発 言 者	発 言 内 容
椎葉委員	<p>という流れは時々ある。それをお茶でやったらありかな。</p> <p>説得するのは難しそう。だから私は違う角度から行きたい。</p> <p>例えば、先日、扇風機にネオンを着けることにしたというので有名にするとか、お茶畑のオフシーズンの時にテントを立てて、こんなに入間市の空が広いのは茶畑があるから、そんな入間市の広い夜空に星を見に行こうとか。</p>
関山副委員長	<p>それで私も、モンゴルのテント等をやると言って、やりたい人いますか？</p> <p>「います」という話なら、行政が手を出さなくてもできると思う。</p>
高橋委員	<p>茶畑の真ん中に木が立っている所ありますよね？</p> <p>あの木の周りは何とかならないか。</p> <p>茶畑でなく、所々土地があって、大きな木が生えていたりする所を核にして、その周りならいくつか置いても大丈夫かなと思っている。</p>
椎葉委員	<p>そして、それが有名になったら、ネットで調べると関連商品があるということによって売上をあげる。</p>
小林委員長	<p>木のある所は、土地の境界が多い所。</p> <p>また難しい話ですね。昔、自分の土地と他人の土地とを分ける為に、境に木を植えた名残。</p> <p>先程のテントを立てるとなると、お茶の木の上に台を作らないといけないのか、具体的に考えると難しい。他にも、水、トイレの問題もある。</p>
関山副委員長	<p>入間市は、お茶が一大生産拠点だから、そこを逃すわけにはいかないと思う。</p>

発 言 者	発 言 内 容
小林委員長	茶業協会なども役員が若返り始めているので、話しの持って行き方によってはどういう反応になるか。今まで通りの先入観で考えず、結果が出てくる可能性はある。
関山副委員長	以前も香りというのが出て来て、先程の金子駅を歩いた時にお茶の香りが全然しないし、いぶしている煙もないからそそられるものが何もない。コストがかからないから、やっていないのならやればいいだけの話。今の話は、やる気がないだけということに集約されてしまうから、その人達をどうやる気にさせればいいのかとか、火をつけて、それに乗るという風にさせるかという感じ。いずれにしても行政側が、助成するのは簡単ではないので、そこは難しい。
小林委員長	お茶は切り離して考えないとキリがない。
椎葉委員	お茶屋さんはお茶が売れるのは嬉しい。あまり難しい話しはしないで、お茶が売れるようにすれば良い。まずお土産が一番良い。お土産というイメージはストーリーとパッケージで買うもの。だから、ストーリー作りとパッケージを援助するから一緒にやろうという話はどうか。
小林委員長	先程言った、日本茶だけでなく色々なブレンド等を提案すると面白いと思う。
椎葉委員	物を売するためにこうしませんかと。 観光客は、米軍ハウスで引っ張るから、お土産はお茶で頑張ってくださいという提案。
相本委員	観光客に来てもらうよりは、住んでもらう為の話ではないでしょうか。

発 言 者	発 言 内 容
椎葉委員	シティセールスの中にお茶やこの場所を入れようとするならばお茶が残る。ここでは、茶畑に住みましょうという話ではないので、売上を上げるしかない。
小林委員長	今の話で付けるなら、ブレンドしたものがジョンソントウンにあると、ある程度地域限定で物事を進めているから、やはり入間市に来ないと買えないよねという話になる。いまやるならその部分。
椎葉委員	観光客はいらないというのなら、お茶屋さんは潤わない。
小林委員長	<p>ただ入間で盛り上がらないと外まで波及しない。</p> <p>外から波及したら入間はそうなのだと反面が見えかもしれないが、やはりこの辺りで買えるというのは強み。お茶屋さんはきちんとしたお茶を作ってもらって、ブレンドはこちらでやるからという形はコンセプトとしてやりやすい。そして、よく見ると農林水産大臣賞受賞などと書いてある。</p> <p>でも、そのお茶を飲みたいかという、そこまでは望んでない事もある。</p> <p>やはり、実際に売れるというのがコンセプト。</p> <p>お茶に関しては、生産と販売を切り離れた方がやり易い気がしている。</p> <p>生産はきちんと続けて欲しい。</p>
椎葉委員	<p>何故、入間のお茶、静岡のお茶でいいという人を、入間のお茶だと言わせる方法を考えた事があるのですが、お茶は本当に味がいい。</p> <p>でも味は宣伝しても分からない。紅茶は宣伝できる。入間の紅茶はあまり紅茶らしくない。</p> <p>逆の発想で、人の嗜好で、海外の紅茶で慣れている私たちは、紅茶は苦くて渋いものと思っている。しかし、ハーブを混ぜたら香りが引き立って味が甘くておいしかった。ハーブティーをつくるなら入間の紅茶を使わない</p>

発 言 者	発 言 内 容
相本委員	<p>と美味しくできない。だからイギリスでなく入間。説得されませんか。</p> <p>お茶の味は、日本酒の利き酒、辛いとか甘いとかかろうじてわかる。</p>
椎葉委員	<p>広告に載せた時に、文章や写真で理解させたいと思った時にこれがかえるなどと思った。</p>
関山副委員長	<p>企画はいいと思うが、特定の企業の為だけでは、行政は出来る事がない。</p>
椎葉委員	<p>この発想で、お茶をうまく引っ張っていく方法はないかなと思った。ハーブティーでは難しいと思うが、今みたいな宣伝をすれば、入間のお茶とならないかな。</p>
関山副委員長	<p>あそこのハーブティーは美味しい。それは入間のお茶だからというストーリーになって、お茶屋さんと一緒にやりたいと動くかもしれない。行政は特定の人を推している事になってしまうので難しい。行政の施策、コンセプトとは関係がなくなって手が出せなくなる。</p> <p>これは、次回ですね。</p>
小林委員長	<p>入間に住みたいという方をもう少し。</p>
関山副委員長	<p>自衛隊があつて、入間市駅と仏子駅の周辺という事で1つだとすると、金子の方はいいのかという話になってしまう。</p> <p>バリューがあるとすると、お茶という事と駅周辺以外は車がないとダメ。西武線があるから、人が来やすいという価値を持っているのに、価値を活かせていないのが問題。</p>



発 言 者	発 言 内 容
小林委員長	生産地と販売を分けた場合にこちらをどう盛り上げるか。
関山副委員長	<p>だが、先程食事処がない、おしゃれな所がないという事になると、ロットがあったとしても納品先がないので売れない。</p> <p>でも、先程のハーブティーがいいとなると、動く人は出てくるかもしれない。だけど、やはり行政にできることはない。</p>
小林委員長	表立った喫茶店はない。こじんまりした喫茶店はある。なくはない。
相本委員	三芳町に芋カフェというのがあり、農家の芋を置いておくスペースを改装してレストランのようにして、お茶を出している。
小林委員長	昨日一昨日とお昼にNHKでハーブティーを紹介していた。そういう所で、そういった商品(ハーブティー)を置いてもらって、市の方である程度マスコミへ話しを持っていくともう少し面が広がると思う。
相本委員	<p>繋がられますよね。金子地区から近いのが金子駅なのですが、どこから人が来るかと考えた時に人口が都内から来ますという話になると、仏子駅になるのではないかと。</p> <p>金子駅は川越で乗り換えないといけないので、行きづらい。</p> <p>仏子は近いかもしれないが、山を越えなければいけない。歩きは来られないが、乗り継いで金子へ入って歩くよりは仏子から行ける方法があれば、おそらくその方が40分位早い。一度川越に出るようですよね。</p> <p>交通手段等で面倒ならば結局行かない。</p>
小林委員長	この件は次回へとしたいがお茶と切り離せないから何か考えないといけない。切り離せないが、農業は奥深い。

発 言 者	発 言 内 容
椎葉委員	大変。だけど、お茶をキーワードにしないとこの話は絶対に決まらない。
委託業者	お茶も大事ですが、今回シティセールスの全体像みたいなものが見えてきた。だがまだ整理されていないのでそこが固まったうえで、各論の話に時間をかけていくべき。
関山副委員長	金子って西武線からしても乗り降り少ないのですか？
小林委員長	金子は金子で便利な所はあります。
小川委員	朝は青梅線乗り入れて1、2本ですが、新宿まで直通の電車がある。ただ、朝だけなので人を呼び込むのは難しい。
関山副委員長	コンセプトだけならば、相撲があります。それから、公園。
委託業者	<p>まず、今出ているもの。</p> <p>先程、自然で入間川が出ました、挙げて良いのですよね。</p> <p>他には、アミーゴ。</p> <p>入間市のシティセールスとは、住みたくなるとはどのように住みたくなる事なのか、行きたくなるというのはどう行きたくなるのか、という細かい部分を掘り下げがまだボヤーンとしている。とにかく住んでくれたら、来てくれたらいいという所に立ち返ってしまっている。</p> <p>自分の仕事としては、掘り下げて行く事が一番の目的で、そうすれば自然とこのように来てもらうのが入間市らしいとかいう事が入間市の人にとっては嬉しいです、輪郭を細かく描いていきたいと思いました。</p>
椎葉委員	前回、いくつか出ましたが、楽しいとか暮らしやすいとか心地良いとか、

発 言 者	発 言 内 容
関山副委員長	<p>現代的でないとか、田舎暮らしという事。田舎だけでなく楽しめる、刺激がある、という事がでてきたのではないか。</p>
関山副委員長	<p>カントリーライフっぽい田舎暮らし。</p>
椎葉委員	<p>そうですね。そして、都会へすぐに出られる。</p>
委託業者	<p>住みたくなる、行きたくなる。入間市にはこのような課題があるから人が来ない。でははく、活かしきれていない良さ「ポテンシャル」ですよねという話しが裏側にあるはず。</p> <p>それで、入間市にどう住んでもらうか、どう来てもらうかというのは、このような事をイメージとして持っている。これが目指すゴールイメージです。それを実現するのは、市が持っている資源はこういうものがあり、それぞれこう活かし方はこうしていきます、という一連の流れにしていって初めて人に伝えられる。全体像のストーリーだと。</p> <p>今までの話でこれがすでに出て来ているかもしれない。という事で、これは次回に回しても、こういった所のコンセンサスがまず必要なのではないかというのが私の意見です。</p>
関山副委員長	<p>前回までのミーティングで掴んだのは、入間市の人口が微減傾向にあるのは、嫌で転出されているのではなく、昔からの方がご高齢で亡くなっているからではないかということ。案外、市外から転入している人がいる。それから、ジョンソンタウンは憧れる、そういう人もいる。そして、田舎暮らし。都会に出ようと思えばすぐに出られる。ベッタウン。だけど自然もある。「休日はいるま」というイメージになったらいいと思う。</p>
椎葉委員	<p>入間市特有の資源は、東京から近いのに自然が残っている事。空が広く</p>

発 言 者	発 言 内 容
関山副委員長	<p>て、土地があることが一つ。もう一つは文化。ジョンソントウンの話を知っていると、その文化が港町の様な、海の向こうの香りがする。</p> <p>ただ田舎くさいのではなく、独特な、自然も文化も両方ある。</p> <p>私が住んでいる所も自然があると思います。この辺りも、所沢にだって自然はある。飯能へ行けばもっとある。所沢であれば通勤できる。人間は知りませんでしたという感じです。</p>
椎葉委員	<p>所沢には自然はないのでは？所沢は文化と便利さがあるが、人間の様な広い自然はない。</p>
関山副委員長	<p>私は、所沢は通勤するのは便利で子ども育てるにはいいかなというイメージをなんとなく持っている。</p> <p>自然があると認識はあるが、今のフレーズだと所沢にもあるという話になってしまう。</p>
椎葉委員	<p>ただ自然を求めている人は、長野へ行ったり、新潟へ行ったりとなる。そうでない自然です。</p>
関山副委員長	<p>それがこの辺りにはあるのではないか。犬の散歩がしやすいとか、皆が言っていたものがある。</p> <p>私は想像できないが、公園から見た夕日が素晴らしいと真顔で言える人に、このような仕事を今までしてきたが初めて会った。それは他にはないのではないか。</p>
椎葉委員	<p>大自然があるわけではない。散歩できる、犬と子どもと楽しめる、安全、という自然。</p>

発 言 者	発 言 内 容
委託業者	マンションの広告を作っている気分になってしまいました。
関山副委員長	三丁目の夕日かな。
委託業者	ジョンソントウンのイメージがあるからなのかもしれないが、昔、コココーラ等でイラストレーターが描いていたイラストの、古き良きアメリカ的な世界感を感じる。
椎葉委員	それにプラスすると、ジョンソントウンにはフィフティーズや、ロックンローラー等いますが、米軍ハウスの特徴とは日本が作った憧れのアメリカです。
委託業者	それは資源の1つと思います。
関山副委員長	自然というキャッチコピーと結び付きます？
椎葉委員	もしポスターに自然があるといってしまうと意味が違ふし伝わらない。これと言える言葉があるとすごくいいと思う。
関山副委員長	高橋さんは、色々な所に住んできて、人間はとて素晴らしいと言われていたので、珍しい言い方をするなと思いました。
高橋委員	彩の森公園は住む所からすごく近い。この距離感が大事なのかも。それが住みやすさにつながっている。
椎葉委員	味わえる広さ。公園で言えば、ただ広いだけでなく田舎くさい緑ではなく、程良く橋と小川が流れていて広場がある。少しいまい演出がある。

発 言 者	発 言 内 容
関山副委員長	<p>「たまにスイス」のように感じたり、非日常を感じたりする。</p> <p>植えつけられたものではなく感じた。ジョンソントウンの住人が彩の森公園で撮った、霧のかかった公園の写真を見て日本ではないと思った。私も行って写真を撮ってみたが、実際よりもかっこよく撮れる。それはすごい事だと思う。</p> <p>日常生活の中で自然に行きたいと思えるような公園があるといい。ごく自然な感覚で行って、散策、犬の散歩ができる。日常の延長線の中に日常の生活で幸せを感じる。</p>
椎葉委員	<p>道の向こうには、海外の公園があったりする。</p>
関山副委員長	<p>今回、ある程度のラインは出て、次回に向けて行政サイドに投げかけたいと思っていた。</p> <p>それが計画を作る時では、具体的な方向に追い込みすぎてしまうが、スケジュールが変わってもいいと思う。</p> <p>たたきを作って、それに対して意見を言い合う状態。この話をまとめる時にはもう全体の話し合いはしないので、一旦受けて分かりやすく整理するという感じ。</p> <p>こういう施策がありますと仮説を市民の皆さんから意見を出してもらって、次に行政側で法律上、財政上、ここは難しいとか、ここは生きるとか、これは民間の方に了解頂ければ可能であるなど、施策として計画に載せられるかどうか。</p>
委託業者	<p>ここに出た話を、資料にプロットしておくだけで、前の段階の話し。</p> <p>各論がでたからには、総論がある。そこについてまとめましょうという事。そこで、認識が違うかどうかはまとめてみて、その違いは共有できな</p>

発 言 者	発 言 内 容
関山副委員長	<p>かったもの。</p> <p>お茶はなんとかしないとだが、手だてがない。</p> <p>相撲、公園などの価値の共有の認識は作りたいところ。</p>
椎葉委員	<p>実際に相撲をどうこうするのは難しくても、意外と相撲はテーマになる。</p>
守屋副参事	<p>相撲がテーマというのは、わんぱく相撲に子どもが1000人参加している環境があって、それが20年続いている。</p> <p>だから、今、30代の親になった人たちも、子どもが生まれて2世代参加している状況。そのわんぱく相撲はクラブがあって、強い子が参加していて、小学校は市内に16校あるが、その全ての学校が参加している。その強い子たちがあつまるクラブがあって、それがあつまる中学校に集まって、その中学校が全国中学校大会の団体と個人で優勝して、横綱になっている。</p> <p>子どもの相撲の中では埼玉が強い。埼玉の中では入間が強いというのは伝説になってきている。そのOB達が、今、埼玉栄という県内でも有名な相撲の名門校へ入って、もう少しすると各界に入りたいという環境があつて、それ以外に毎回呼んでいて、巡業が入ってきて、子どもの相撲と、大相撲があつて、今、子どもの相撲を見ている人が春日野親方の同級生で学生の相撲をやっていたので、その関係で合宿がはいつてきたりしていて、貴乃花親方も明大の後輩なので来ていて、わんぱく相撲の優勝杯は貴乃花親方からもらったのです。</p> <p>毎年来てくれているので盛り上がっているというので、その人の力はあると思うが、この20年で急に入間イコール相撲の街のような雰囲気がある。3週間後に、その1000人の大会があります。子どもの相撲、学生の相撲も含めて、盛り上がりそうだという事です。他の地域よりは、相撲は馴染みやすい。親しみやすい。</p>

発 言 者	発 言 内 容
小林委員長	小学生にはもう馴染みがある。各小学校から出しているから。各小学校から出しているということで、小学校の校長はその時の応援でもちろん来る。
守屋副参事	半分以上は女の子。相撲なのに。まわしつけないといけないが、まわしをつけてでたいという女の子がいる。体育着の上にまわしをつける。
椎葉委員	近所のお母さんに「入間市は相撲すごいの？」と何気なく聞くと「入間市の相撲はすごく有名。」とすごくのめり込む。
守屋副参事	実際には保育所と幼稚園も回って、そこも大会練習している。
関山副委員長	入間市の相撲は放置しておいても、他の地域から人が見に来ているの？
守屋副参事	<p>増えています。彼らがこだわっているのは、教育だからだれかれにも見せたくない雰囲気に関係者にはある。だから、物見遊山で来て欲しくないときがある。</p> <p>今は観光という事で、少し変わってきた。外に向けることに対して少しずつアプローチして、面白いと思って頂けている。</p> <p>アプローチしたら思った以上に反応があって、春日野部屋の入間市合宿での稽古の公開をして、保育所からは100人来てくれて、一緒に四股を踏んだりした。同時に一般公開すると市報に載せただけで、350人程の一般の方が集まってくれた。そこでちゃんこ鍋を食べた。行政側としては、興味を持ってくれていると感じている。</p>
関山副委員長	<p>先程の、核論の中の1つに相撲がある。</p> <p>学校教育の一環としてやっているという事と、20年の歴史がある。</p>



発 言 者	発 言 内 容
守屋副参事	ちゃんこ給食というのがあって、学校でちゃんこ鍋の給食をする機会を作ったりしている。
関山副委員長	相撲、そして、自然の公園があるという解釈で良いか。
増岡次長	相撲をシティセールスとして挙げていく時に、学校教育の中で盛り上げていくには、相撲に携わっている方々に理解を求めないと次のステップには進めないと思う。その対応、展開についてはセールスとしてどうするか。
椎葉委員	<p>シティセールスの話し合いで相撲があがるのは、相撲競技をしようとか、相撲で人を呼ぼうという事よりも、相撲をテーマに暮らして、住みたい、暮らしたいと来る人にどう関わらせるか。それが難しいのなら、ちゃんこ鍋が食べられますとか、大会の時は人が来るからイベントできるとか、そういう関係でもいいのではないか。</p> <p>私は、相撲は見ないと思うが、入間市の相撲はすごいらしい、ちゃんこ鍋が食べられるらしいというような興味のない人にまでに働きかけられるように相撲を絡められたら面白い。</p> <p>面白くなるのであれば、競技でいってもいい。だがそうすると、面白くない上に許可を取らなければいけない所が沢山あるし、ミーハーや観光にする事は目指しているものと逆の事だと思うので手を出さない方がいい。</p>
小林委員長	相撲に関してでもなんでも、初めは盛り上がる、20年経つと、初めの盛り上がり落ち着いてくる。すると資金面や色々な面で環境が変わってくるのでこういったアピールをしたりして盛り上げたい。やっている本人達も思い始めているはず。
守屋副参事	わんぱく相撲の時に、観光協会に店を出して欲しいとオーダーがあって、

発 言 者	発 言 内 容
関山副委員長	<p>そういう意味では一緒に盛り上げたいと言ってもらっているので、芽はあると思う。教育も含めて市と盛り上がりを作ろうと言えばいい。</p> <p>昨年も県ブロック大会で、各地の選手が入間市に来た時に「お土産がないか？」という話しになる。</p> <p>お土産を作っておいたら、それを買って帰る。それを見た時に、売れる。興味持ってもらえると思った。</p> <p>相撲のゆるキャラを呼んできて置きました。初めは神聖な土俵に邪魔と言っていたが、人が集まってきたらよかったねという話しになって、次の県大会の時にはあちらから貸して欲しいという話しを頂いた。そう意味では、アピールする事がある種のプラスになると思った。</p> <p>磨けば宝石になりそうなものを全部出して、もう一度まとめてみたら、ジョンソントウン、お茶、入間川、アミーゴ、公園、相撲。</p> <p>そこから矢を射っていけるか、矢を打てるものなのか。それは仮説を出して見て、行政がここまでと組み立てればよい。イベントを取り立てるといのは、シティセールスとは筋が違う。一つずつ見ていくと、やはりイベントという話しになってしまう。なので、根本的な部分で一つにコンセプトを決めようという話し。</p>
小林委員長	<p>住んでみたい、来てみたくなる、行ってみたいとなるような。孫が出てくるから入間市へ行ってみようか、いったら面白いお土産があるから買ってみたというようなのがシティセールス。</p>
委託業者	<p>今の説明は、とてもわかりやすい。つまり入間市らしい人の呼び方というのは納得してというよりは、まずはそそのものがあるって、憧れの街とか、人を楽しませる事とか、どんどん掘り下げていける。皆さんの肌触りみたいな、イメージしているものを今日はつかみたいと思っていました。</p>

発 言 者	発 言 内 容
小林委員長	この他にもまだあると思います。コンセプト的に「休日は入間」のようなものが出ました。方向性を整理すると何時間あっても足りない。
委託業者	まとめたものからみると、考えが変わったり、ずれたりはあるかもしれませんが、まずは大きな流れを作り始めるのが大事。その為に整理できる事はして行きましょう。
関山副委員長	<p>今回は7月24日ですよね。</p> <p>市全体として今の段階で網羅されているという事で良いですか。</p>
小林委員長	<p>住みたいというのは当然、安心安全が入る。</p> <p>それが全てだが、必ずしも全てではない。</p>
守屋副参事	<p>言えなさりがありませんが、色々な切り口がある中で、ほぼ網羅されていると思います。</p>
委託業者	<p>「休日は入間で」と何となく纏めていっても、こうなっていないと入間市らしくないのはそれで良いのですかという問いかけは、資料にさせていただきます。</p>
小林委員長	<p>ついつい議論が枝葉へ行ってしまうと、何か困ると幹に戻らなくてはならないが、幹の方を進めて頂いたので、議論がしやすくなったという気がする。</p> <p>今日もとても有意義なご意見を賜ったと思います。</p> <p>また次はどういう展開になるのかとワクワクドキドキ終わりになってしましますが、皆さんが良い宿題を持って次臨めるかなという感じ。また改めて事務局からご連絡がいくかと思いますが、その節にはまた今日の意見を</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>発展させられる様な議論になりますように皆様方をお願い申し上げて、長時間にわたりまして、本当にお疲れ様でした。</p> <p>家に帰って、この余韻に浸ってもらいながら次まで宜しく願い申し上げます。</p> <p>以上です。ありがとうございました。</p>
<p>議事のでん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。</p> <p>年 月 日</p> <p>議 長 の 署 名 _____</p> <p>議長が指名した者の署名 _____</p>	